


発行日 2021年2月1日 第7号

TEL (058) 266-1378

発行責任者：岐阜高山教務所長 海老原 章 岐阜市大門町1

FAX (058) 266-1392

岐阜高山教区だより

 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

※中止となりました1月「仏教公開講座」講師よりメッセージをいただきました。

「不安の世を生きる」

土井 紀明（大阪教区念佛寺住職）

戦後、核開発による核兵器の拡散や原子力発電の事故などによって核の脅威が強調されるなかで、CO₂によるオゾン層の破壊によって異常気象が起これ、暴風、洪水、干ばつ、森林破壊などで人類生存の危機が叫ばれてきました。

そしてここ一年の間は、新型コロナウイルスによって世界中の人が生命の不安にさらされてきましたが、これは四十年ほど前から、エイズ、エボラ出血熱、サーズ、そして今度は新型コロナ、あるいは鳥インフルエンザなど、すべてウイルスによる感染症で、今後もまた新種のウイルスが発生し流行する可能性は大でありましょう。

この世界はいつまでたっても不安はなくなり、不安な世界と人生の中を生きることを余儀なくされている私たちであります。こういう不安だらけの世に生きる私たち真宗門徒にとって、真の依りどころと言われてきた南無阿弥陀仏は「私にとって一体何なのか」と自分に問うてみるのが大事だと思います。

南無阿弥陀仏を親鸞聖人は、「摂取不捨の真理」を表した「摂取不捨の真言」と了解されたと伺います。

摂取不捨の真理とは万人に与えられている永遠普遍の真理であり、真実の用（はたら）きであります。

「摂取して捨てない」阿弥陀仏の用きに私たちは一人一人すでに摂め取られているという有り難い真実です。

阿弥陀仏は〈智慧と慈悲といのちのはかりなき功德〉であって、この徳用は今この私に用いていてくださいます。この阿弥陀仏のあたたかいのちに於て人は生まれ、このいのちの中に生き、働き、その中で終わっていく。阿弥陀仏のあたたかいのちを離れて人は一瞬も生きることも動くこともできません。どんなにこの世界が動揺し、何が襲ってきても、阿弥陀仏の大悲のいのちから私を切り離すことはできない。私が死ぬということもこの阿弥陀仏のいのちの中の営みです。要するに阿弥陀仏の大悲のいのちに、だれでもいつでもどこでも、何が起ころうとも、抱かれているということ、それが摂取不捨の真理であります。

この驚くべき有り難い事実を告げ知らせる言葉が南無阿弥陀仏です。それが、お念仏となって、口に称えられ耳に聞かしめられます。

南無阿弥陀仏の一声一声は、阿弥陀仏が「ここにいる、汝とともにいる、汝を全面的に引き受けている」との大悲の喚び声であります。

さまざまな不安は、それを縁としてお念仏を称え聞いていく生活において、阿弥陀仏が私のいのちの親（主体）であることをその都度知らせてくださる大事な仏縁となってくくださいます。

不安な人生のただ中を、用心しつつ、またいたずらに怖れず、常にまします阿弥陀仏と共に、少しでも安らかで平和な世の中になるように生き抜いていきたいものです。



今月のテレフォン法話
 テーマ 命の出会い「真実の声を」
 TEL 058-265-0033
 2月1日～末日
 浅井はるみ氏
 (第6組聞得寺)

岐阜高山教区ホームページ

<http://otani.gifukyoku.com/>

教区事業日程、公開講座案内、テレホン法話内容など、様々掲載しておりますので、是非ともご活用ください。

2・3月「仏教公開講座」中止

2月20日・3月20日開催予定の「仏教公開講座（岐阜）」はコロナ感染防止の為、中止です。

2月9日「聖典学習会」岐阜

「聖典学習会（岐阜）」は、Zoom開催となりますので、参加希望者はメールでお申し込み下さい。

gifu@higashihonganji.or.jp

任期満了に伴う組門徒会員の改選について

このたび、組門徒会員の任期が2021年3月9日をもって満了いたします。寺院・教会において、組門徒会員を選定いただき、報告書を2月9日までに組長にご提出いただきますようお願いいたします。

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

高山1組 霊雲寺 住職
 坂上 祥司 様 12月29日命終（72歳）

第4組 福證寺 前住職
 岩越 智城 様 1月1日命終（85歳）

高山2組 常光寺 住職
 椿 未知丸 様 1月4日命終（91歳）

第12組 音通寺 住職
 鈴木 義見 様 1月10日命終（70歳）

清見組 蓮徳寺 住職
 三本 昌之 様 1月14日命終（62歳）

2月の主な行事

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 2日（火）〔13時半〕 | 教区教化委員会
教区慶讃事業推進委員会 |
| 8日（月）〔13時半〕 | 第3組門徒会・組会 |
| 9日（火）〔14時〕 | 聖典学習会 ^岐 |
| | 〔14時〕 伝道部会 ^高 |
| 10日（水）〔14時〕 | 研修部会 ^岐 |
| | 〔16時〕 企画会議 ^高 |
| 12日（金）〔13・15時〕 | 組門徒会カリキュラム研修 ^岐 |
| 15日（月）〔13時半〕 | 聖典学習会 ^高 |
| | 〔15時半〕 育成部会 ^岐 |
| 16日（火）〔13時半〕 | 高山支部坊守研修会 ^高 |
| 17日（水）〔13時半〕 | 組長・組門徒会長懇談会 ^高 |
| | 〔15時〕 児連会議 ^岐 |
| 18日（木）〔19時〕 | 教化学研修室学習会 ^岐 |
| | 教研定例 ^高 |
| 22日（月）〔13時半〕 | サラナン ^岐 |
| | 〔14時〕 真宗公開講座 ^高 |
| | 〔19時〕 高山2組親鸞教室 |
| 25日（木）〔14時〕 | 東海連区児連会議 |